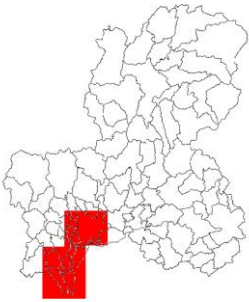


マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i> L.	準絶滅危惧
		マツモ科
選定理由	生育地と個体数がかなり減少しており、この状況が続くと個体群の維持が危うくなり、絶滅する可能性が出てくる。	写真(大塚英樹)
形態の特徴	根は無い。茎は20-100cmで分枝する。葉は5-8個が輪生し、1-2回二叉に裂け、裂片は線形、長さ10-25cm。雌雄異花。花は極めて小さく、花被片は目立たない。雄花は雄蕊が10-20個あり、雌花は雌蕊が1個ある。	
生態的特徴	湖沼、溜池、水路などに生育し、沈水性で普通浮遊する。花期は5-8月。	
分布状況	世界中にあり、日本でも全国に分布する。岐阜県では県南の南西部に見られる。	
減少要因	開発による湖沼の埋め立てと水質の悪化が考えられる。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘